



魁文堂 卸売部

電 1891
夜間 313

平 駅 前

三和新報

THE SANWASHIMPO

第284号(昭和29年6月17日第三種郵便物認可)
日刊(日曜・祝・祭日を除く) 購読料 1ヶ月 50円

4月7日

(木曜日)

行 所
三 和 新 報 社
平市六丁目
電 472番

木材の百貨店

一般建築物・建具材
ベニヤ板類・路木・秋田杉
津島松・木そ合・ラワン材
米杉・車輪材・枕木・電柱丸一木材店
工場 平市福宣町電 5290
平市五丁目電 5290

「市民だより」號外に横ヤリ

青年同志會、市長に質問状

平青年同志會(会長遠藤三郎氏)では市政革新會が數回にわ

たりバラまいた市政批判のピラに對し、平市當局がそのた

び「市政だより」の号外を發行していることは市費の濫費

ではないかと、6日諸橋市長あてに公開質問状を發送し、

てんやわんやの市長選にまた波紋を投げている。平青

年同志會が諸橋市長に發送した質問要旨次の通り

一、過競業「平市政革新會」が市

青年同志會委員会の下に裏地検

にこの「市政だより」号外を発行

して、その結果を市民に報告

したいわゆる水槽問題に対し

した。

二、平市政革新會が「不正請負」

事問題等で市民に報告チラシを

出す毎に「市政だより」号外なる

ものをお詫びしその連絡員および職

員長等を頗りしてよいが、こ

れは市費を以て選舉対策の宣伝を

例を「市政だより」号外の発行

はわれわれの直視する市費の濫費

ではないばかり、今後とも市民の一

部から市政を批判されるたゞひと

れば安心出来ません。よって今評

してあるのではなくだらぶそれ

ではないならば、今後とも市民の一

部から市政を批判されるたゞひと

七日夜團交なるか

大詰にきた日水スト

張する組合も声高せざるをえた

一回五十頭を刈る事ができる櫻

秀木の内で同所で東京ではじめ

から輸入したもので植栽はサツ

ト萬七千株也だがハサミによる毛

刈は一日十二、三頭がせいぜい

矢吹市長進退協議

さよは日がよく供託押すな押すな

なよきひばは日がよいといひの

こととは同町内平和上おし

ろくないといひものいひ。

金古議長一番乗り

さよは日がよく供託押すな押すな

なよきひばは日がよいといひの

こととは同町内平和上おし

ろくないといひものいひ。

常磐市臨時市会は八日午後一時から公民館にひき合併時に隣接する

の進退問題について討議する。

常磐市臨時市会は八日午後一時から公民館にひき合併時に隣接する

の進退問題について討議する。

常磐市臨時市会は八日午後一時から公民館にひき合併時に隣接する

の進退問題について討議する。

常磐市臨時市会は八日午後一時から公民館にひき合併時に隣接する

の進退問題について討議する。

常磐市臨時市会は八日午後一時から公民館にひき合併時に隣接する

金持ちごめん

『公明選舉に意見統出』

NHK街頭録音

おとく交際旅を支出するものおも

われ

秀木の内で同所で東京ではじめ

から輸入したもので植栽はサツ

ト萬七千株也だがハサミによる毛

刈は一日十二、三頭がせいぜい

時半から平市下荒川綿羊組合で電

気パリカン使用の毛刈講習会を開

く。この電気パリカンはアスリカ

から輸入したもので植栽はサツ

ト萬七千株也だがハサミによる毛

刈は一日十二、三頭がせいぜい

3月20日
4月30日

コロムビア

二十六名 大學總出演

歌舞

霧

島

昇

高

倉

敏

池

真理子

伊達みどり

眞理子

白い手の労働者

日本水素ストに思う

伊藤久太郎

若體者なり」といつてゐる。終

若體者なり」といつてゐる。

勿来地区労協結成

一日七百名を就労

十日から特別失効事業

二十九年度特別緊急失効事業は春月三十日で打ち切られたが建設

春月三十日で予算一千三百

来地区国道改修、まだ河川工事は

幕田会計上、新川、湯本川、好間

川の改修を行つことになつた。な

れで、幕田会計上、新川、湯本川、好間

川の改修を行つことになつた。な

出場者

珠算県豫選

輪下) □内藤三中(實論中) □赤井中校(赤井一中) □小玉中校(赤井一中)

今夜の映画(六二十一)

△今夜の映画(六二十一)

△珠算女組(五五)

学校名変更

会員券

前回の催し

☆平市文化運動史上空

☆会場 平市公会堂

☆日時 四月十二日

午後二時半二回

お富さん(六二九)

△横断ターザン(松林の空王)

△ひかり座(ロビン・フッドおじさん)

新学期用家具の御用命は是非當店へ

御用命は是非當店へ

御用命は是非當店へ